

一般地用2m:HWH-EP1012-2 一般地用3m:HWH-EP1012-3 一般地用5m:HWH-EP1012-5
寒冷地用2m:HWH-EP1022-2 寒冷地用3m:HWH-EP1022-3 寒冷地用5m:HWH-EP1022-5

- このたびは東芝ヒートポンプ給湯機用エコパイプセットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お客さまご自身では取り付けないでください。安全や機能の確保ができません。必ず販売店、工事店にご依頼ください。
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、説明書にそってお客様に点検のしかたを説明してください。また、この取付説明書はお客様で保管していただくように依頼してください。

安全上のご注意

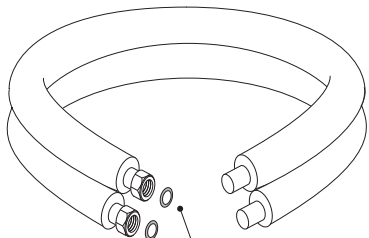
- ここに示した注意事項は据付工事をするかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を表記しています。下の内容をよく理解してから本文をお読みになり記載事項をお守りください。

表 示	表示の意味	表 示	表示の意味
	注意 “取扱いを誤った場合、使用者が障害（※1）を負うことが想定されるか、または物的損害（※2）の発生が想定されることを示します。		は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	● は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。		は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

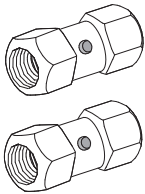
※1: 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。 ※2: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

	注 意		保管場所では火気を使用しない パイプが損傷し、水漏れの原因になります。
	専門業者 配管工事は、製品の工事説明書とこの取付説明書にしたがって行う 工事に不備があると、水漏れの原因になります。		禁止 塗料、コーキング材、洗剤などを付着させない パイプが損傷し、水漏れの原因になります。
	上水道 水は水道法に規定された水質基準に適合する水を使用する 適合しないと、水漏れの原因になります。		禁止 パイプを座屈させたり、折り曲げない パイプが損傷し、水漏れの原因になります。 万一発見したら除去してください。
	禁止 搬入や運搬の際は、引きずらない パイプが損傷し、水漏れの原因になります。		禁止 エコパイプをジェットバーナーなどで暖めない パイプが変形し、水漏れの原因になります。
	禁止 紫外線（直射日光）の当たる場所に放置しない パイプが劣化し、水漏れの原因になります。 直射日光が当たらない室内に保管してください。		指定部品 エコパイプには、必ず付属の アダプター（継手） を使用する 指定以外のものを使用すると、水漏れの原因になります。

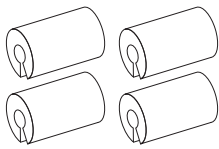
●付属品



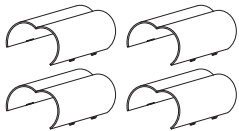
エコパイプ
（断熱材、カシメアダプター、
耐熱パッキン付）



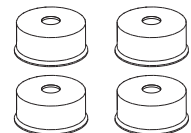
ナット付(メス)アダプター
×2個



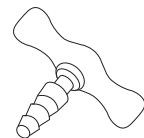
半割保温材×4個



継手用保温カバー×4個



管末キャップ×4個
（内2個はエコパイプに接続済み）



面取器

- ★お願い／パイプ接続の際は、内部に異物が入らないように注意してください。

●取り付けかた

① 貯湯タンクユニットのヒートポンプユニット（行き・戻り）に、それぞれナット付(メス)アダプターを取り付け、モンキーレンチで確実に締めください。

貯湯タンクユニット

ナット付(メス)アダプター

② エコパイプのレイアウトを決めて、希望の部分を曲げます。
曲げる場合は、スプリングバンダー（三葉製作所 SFKSB-2600L）をご使用ください。

スプリングバンダーを差し込む

R70 まで

※70アルルが限界です

●三葉製作所連絡先
Tel. 03-5825-1710

禁止 同じ部分での曲げ・戻しを繰り返さない
パイプが損傷し、水漏れの原因になります。

③ 必要に応じて、エコパイプを切断します。
切断器は市販のチューブカッターを使用します。
切断器の刃をパイプに直角に当て、頭のツマミを回して刃を固定し、切断器を回転します。

① 90°

切断器

② 頭のツマミを廻して刃を固定

注意 断熱材を切断するときは、エコパイプを傷つけないように注意する
パイプが損傷し、水漏れの原因になります。

④ 付属の面取器を使用してエコパイプの面取りを行います。
面取りはエコパイプ切断有無にかかわらず、必ず行ってください。

② 面取器を回転する

面取器

① 奥までいっぱい差し込む

- 専用の面取器を使用してください。
- 奥までいっぱい差し込んで、回転してください。
- 面取器は5～6回回転してください。

⑤ 断熱材の管末に管末キャップをかぶせます。

かぶせる

管末キャップ

エコパイプと断熱材は、約50mmが適当です

⑥ 配管を延長する場合は、「配管を延長する場合」の項目をご参照ください。

⑦ カシメ付アダプターの袋ナットの中にパッキンが入っていることを確認し、ヒートポンプユニットの湯側・水側にエコパイプをそれぞれ接続し、モンキーレンチで確実に締めてください。

⑧ 貯湯タンクユニット側に接続したナット付(メス)アダプターにエコパイプをそれぞれ接続します。
このとき、貯湯ユニットのヒートポンプユニット行きとヒートポンプユニットの水側、貯湯ユニットのヒートポンプ戻りとヒートポンプユニットの湯側が、接続されていることを確認してください。
割リング・ナットを確認し、ナット付(メス)アダプターにセット後、モンキーレンチで確実に締めてください。

インジケーター（赤色）

注意 インジケーター（赤色）の突出を必ず確認する
接続が不十分だと、水漏れの原因になります。

⑨ 接続部の漏れ確認を行います。
止水栓を開けて、水圧をかけた状態で十分に漏れ確認を行ってください。

漏れ確認 接続部の漏れ確認を十分に行う
漏れ確認が不十分だと、水漏れの原因になります。

⑩ それぞれの接続部に半割保温材を取り付けます。

⑪ それぞれの接続部に継手用保温カバーを取り付けます。

●配管を延長する場合

- ⑫ 一方のエコパイプ断熱材の管末にも管末キャップをかぶせます。
- ⑬ 前項のエコパイプにソケット(三葉製作所 EPS-10)を接続します。
※別売のため下記よりご購入ください。

●三葉製作所連絡先
Tel.03-5825-1710

●水漏れの日常点検について【お客様への説明】
製品の日常点検と合わせて、エコパイプの日常点検を行っていただくようご説明ください。

注意 日常の水漏れ点検を行う
特に集合住宅では、漏水が階下への被害を与えます。